



《クリスマスメッセージ》

光 あ れ

― 神は希望のうちに生きることが
できるように私たちを創造された ―



主教 アンデレ 大畑 喜道

神がこの世界を創造され秩序だてられた時、すでにそこには神の霊が漂っていたと伝えられています。闇が面にあり、絶望であるかのように思えていた。しかし神の霊は水の面を動いていた。それは神が支配されていたことを示しています。しかし神は私たちが、それだけだと闇の世界の支配に押しつぶされてしまうだろうと考え、真つ先に光をお与えくださいました。光は希望であり喜びです。この世界は真つ先に神のみに支配されていて、希望に溢れていた。闇が支配するのではなく秩序を与え、希望を与える神の言葉、そしてそれを明確に示す光が与えられていたと創世記で示されます。

私たちは昼には太陽が出

て、その光で明るくなり、闇の夜は太陽が隠れて暗くなると思えます。そうすると太陽の存在が光と思わなければなりません。ところが太陽が造られるのは第四の日です。「光あれ」と神はみ言葉を与えますが、その光は太陽を源にしているのではなく、深淵の状況である中に神の霊が水の面を動いていた。希望の源が神のみ言葉にあることを示すために、それが明確にされていくために、神は「光あれ」と言われたのです。私たちにとつての本当の光とは何でしょうか。

最後に神は土の塵で人を形づくり、その鼻に命の息を吹



右は武藤謙一九州教区新主教 (12/1 按手式にて)

き入れられます。人はこうして生きる者になります。人間は土の形に神様の「命の息」が吹き込まれて生きる者となったのです。人間が人間であるために必要なことは神の霊でした。最初から存在していた神の霊によって、私たちは混沌と闇の世界にあつたとしても、力強く立ち上がる事ができるのです。「命の息」によって人が立ち上がる事ができるようになったこ

とは、預言者エゼキエルの幻にも示されています。枯れた骨に神の命の息が吹きまくると人間として立ち上がるのです。新約の世界でも、力を無くしているお弟子達が神の息

によって立ち上がったことを伝えていきます。

神様は最初に太陽を造ったのではなく、希望が明確にされるために、どんな時にも立ち上がる力が与えられていることを示すために「光あれ」との神のみ言葉をまず与えました。しかし人間の浅はかな知恵がこの素晴らしい神の祝福の現実を見えなくさせてしまっています。それに対抗するように神はいつの時代でも「光あれ」と言われ続け、この世界を祝福へと導いておられるのです。そして私たちに大切な使命を与えています。私たちにとつて光をいただく人生は、年を重ねても、どんなことがあっても変わらぬ喜びです。教会は光をいただき、世の人々に救いの喜びを証して行く使命が与えられているのです。そのしるしとしてイエスはこの世に降られたのです。光り輝く救いが与えられた。それに応答していく者となりましょう。

クリスマスおめでとう。

イギリスのクリスマス

ジョンソン 友紀

日本語英国教会 Lay Minister

最近、イエスのご生誕を描いたクリスマスカードが少なくなってきた、またクリスマスの本来の意味をあまり考えない人々が多くなってきました。そういった中、クリスマス



スに向かつて、それぞれの教会では、ご降誕の大切な意味を人々に伝えようとしています。

Crib Service では、生誕の物語をたどりながら、ネイティブティを祝福します。ネイティブティのセットは、教会によって異なったサイズや様々な素材があり、興味深いものが多々あります。クリスマスティンデル礼拝は、献金が The Children's Society の働きに捧げられます。参加者全員に渡されるものは、神の創造された世界を示すオレンジ、四季を示す4本の爪楊枝、地上の実りを示す果実や菓子、オレンジを囲むリボンは神の愛、そして「この世の光であるイエス」を示すキャン

ドルと、たいへん貴重なメッセージを含んだものです。私達の町のショッピングセンターでは、毎年タウンセンターのチャップリン達がドロップインを設けています。厳しい

店に働く人々の個々の声に耳を傾ける機会を提供しています。「世の光」がちまたに届くように。

東アフリカ・タンザニアのクリスマス

タイト・ハウレ(信徒リーダー)
ジョンズ・カレシユ(教会委員)

私たちの聖マーガレット教会は、アフリカ最高峰のキリマンジャロ山のふもとにあるモシ市にあります。この国タンザニアには多様な文化と多くの宗教があります。

クリスマスシーズンは12月の初めの降臨節から始まり、クリスマスイブに行なうキリストの誕生を祝う聖劇の練習を続けます。クリスマスイブには聖餐式がありますが、ある教会では聖餐式は夜中続けてクリスマスの当日に至ります。この時は電灯を消してロウソクをつけ、キリストの生誕の夜を再現します。

クリスマスは家族が相集い、教会は礼拝参加者であふれます。聖マーガレット教会では、スワヒリ語による聖餐式は朝8時に始まり、聖卓は色とりどりの花や衣で飾り付けられ、会衆は持っている一番よい服を着て集まります。子どもたちも新しい服を着ます。聖餐式ではクワイヤーがクリスマス



連れてきて親戚や近所の人に紹介します。この時期は大変賑やかで、食事や飲み物がたくさんふるまわれ、歓待が盛んです。

キリスト者にとつては、クリスマスは救いを受けるよい知らせの季節です。それはまた私たちが愛する人びとと会うことができる時なのです。

イエスキリストが私たちの救い主であり、私たちの生活の道しるべであるという知らせを皆様にお伝えください。(聖マーガレット教会スワヒリ語会衆より)

フィリピンのクリスマス

河島 ローズ

フィリピンではクリスマスは非常に愛され、最も楽しみにされている祝日です。祝い方はフィリピン人独特で、家族や愛する人達、信仰がその中心にあります。家族や親戚、友人との楽しい集いの時なのです。フィリピン人はまた、世界で最も長いクリスマスシーズンを経験することでも知られています。9月に始まり翌年1月の顕現日まで続きます。

伝統的には、クリスマスは最初の Simbang Gabi(夜明け前のミサ)の12月16日に始まります。これは特別な恩寵を戴くための9日間連続のミサで、このミサが完了すると、お捧げした者

世界のクリスマス便り

の願いを神様はきつとかなえてくださると信じられています。

12月24日の *Bisperas ng Pasko* (クリスマス・イブ) は、夜10時から真夜中の12時の間の深夜ミサで執り行われます。家族全員でこのミサに出席するのが一般的です。ミサから帰った後、家族は伝統的なクリスマス・イブ料理をいただきます。 *queso de bola* (チーズ)、 *tsokolate* (チョコ)、 *hamon* (ハム)、 *lechon* (豚の丸焼き)、 *adobo* (豚や鶏肉の煮込み)、 *morcon* (チーズや野菜の肉巻)、 *pancit* (焼きそば) 等です。これは家族全員でうけたお恵みに感謝するひと時です。それはまた、親戚、友人や近隣の人が「クリスマスおめでとう」のお祝いをするために訪問し合うオープンハウスでもあります。この祝祭は12月25日まで続きます。

クリスマスは、家族や愛する人達と、分かち合い、与え合い、楽しみ、友情を深める時間なのです。

韓国のクリスマス風景

司祭 柳時京

私は、小学校6年生の時から教会に熱心に参加し始めた。正直まだ信仰とは言いがたく、同年代や先輩・後輩など、学生の集まりに興味があったのである。特に同じ学年には女子学生も多

かった(笑)。それでも柄だけはクリスマスちゃんだった。イースターにはゆで卵に絵を画いて大人に売り(ほぼ押売



り)、その売り上げでソウル郊外にある孤児院を訪問したりした。

なんとと言っても、やはり学生時代の教会活動の白眉はクリスマスだ! 数ヶ月前からページェントの準備が開始され、一方では、クリスマスパーティー企画が始まる。その中で自分にとって鮮烈な印象を残したひとつの出来事がある。中学2年生のことだ。クリスマス

マスイブの夕の礼拝を終えて、深夜のミサを迎えるまでの時間を利用して、教会の周りに2~3人ずつペアになっ

てクリスマスの挨拶や贈り物を分かち合うために出かけた時のことだ。私は市役所前の大通りにあるバス停担当になって、先輩たちについて行った。停車するバスのドライバさんやアンネヤン(案内嬢、当時はバスごと車掌として若いお姉さんたちが1人づついた)にお菓子とみかん、飴などの詰め合わせとクリスマスカード入りの贈り物袋を手渡した。その時、その人たちの凍りついた冷たい手と、あまりにも対照的に温かかった感謝の言葉と眼差し、今でも鮮明な記憶として残っているのだ。みんな興じた聖夜に楽しむ時間なのに働く人々がいるという事実に初めて気づかされる瞬間だった。思えば、早く手元の袋を配り終え、教会に戻ってパーティーを楽しみたい幼い心に、ちよつと天使が訪ねてきた時だった。

ハワイのクリスマス

司祭 上田亜樹子

クリスマスと言えばページェント、2つの想い出をご紹介したい。まずはホノルルにある聖マーク教会。比較的小さい(主日礼拝出席は50人位)の、日曜学校教師はユース(中高校生。

大学生など18歳以上は「大人」とみなされる)を含めて15名が毎週奉仕する充実ぶり。ところで劇中の「3人の博士」は一般信徒にお願いしようという

ことに教師会で決定した結果、92歳のジョセフ、30代半ばの事故で「上半身しか稼動しない」(本人談) 大学教授アイオナ、80を過ぎてから失明されたヨネオの3人に決まり。中央通路をゆったりと歩くジョセフ、その後を椅子でしずしずと続くアイオナ、そしてヨネオのエスコートとして一緒に歩いた私にも、クリスマスを只「楽しいもの」としてキラキラな礼拝を見に来た人々でさえ一瞬、「ひよつとしてクリスマスとは、現実を生きていることなのか」と感じ始めている空気が伝わってきた。もうひとつは、海辺の聖ジョン教会でのこと。ここでもユースは大活躍。彼等がクリスマスの物語を現代風に「翻訳」した結果、10代で妊娠したマリアと、彼女とつきあい始めたものの父親でもない彼氏が、途方にくれつつも、マリアを見捨てることなく、ふたりに町を彷徨った挙げ句、ショッピングモールの駐車場で出産の時を迎える、という劇を書き上げた。クリスマスは、私たちの内にある痛みを亡きものにしては、本当の喜びは見えない。なる、という性質のものかもしれない。

司祭と語ろう (特別編)

主教 竹田 真

今回は「司祭と語ろう」のクリスマス号特別企画として、竹田真主教の中央区佃にあるお宅を訪ねてお話を伺った。聞き手は特別に神崎雄二司祭にお願ひし、広報委員長の渡辺康弘と2人でおこなった。竹田主教らしい言葉遣いと示唆に富んだ表現に溢れ、楽しいひと時となった。

竹田 今日、何をしゃべってもいいのかい。



渡辺 はい自由に語り合っていたらいい、載せてまずいところは編集いたします。(笑) 神崎 僕は、いつも主教さんの説教には、お決まりの文句ではない何か心に残るものがあり好感をもっていました。

渡辺 説教をする上で、何か心がけていたこととかはありませんか。

竹田 そんなものはないよ。昔からあまり準備をしないで、電車の中で何をしゃべろうかと考えていた。(笑)だから、説教集を出して欲しいと言われてるが、書いたものは何も残っていない。

神崎 説教の原稿は作らないんですか。

竹田 自分の書いたものを読むのが嫌でね。でも榛名では月に一度の説教を秋葉司祭が録音して文章にしてくれる。でも、それを読むのが、また嫌なんだな。(笑)

神崎 僕は原稿を書きますが、それは同じ説教をしないようにするためです。あと、僕たちの頃は、どうにもならない奴が神学院に行って、何とかみんなに支えられて卒業できた。優秀でない者が選ばれて用いられた。そんな時代の校長で大変だったと思います。

竹田 そう、食事中に殴り合いの喧嘩がはじまって、ここですと迷惑だから、外に出

てとことんやれ、牧師になるのは命がけだ、ということもあつたね。(笑)

渡辺 でもその熱意に人は動かされるんですよ。

竹田 今は教会も真面目になりすぎている気がするね。

渡辺 その辺が教会が伸び悩んでいる原因なんじゃないか。

竹田 そうかもしれないね。この前、宣教協議会をしたの

かな、人数が少ないことも問題だけど、そんな時こそ、もつと気を楽にして取り組んだらいいと思うけど。

渡辺 人数はともかく、教会に元気があればいいと思います。高齢化というのも理由なんじゃないか。

竹田 いや、今は榛名にいるけれど、老人は皆、元気だよ。

渡辺 むしろ若い人の方が元気がないと…。

竹田 真面目にやりすぎて、面白くないんだろうな。真面目すぎても霊性は無くなるよ。

渡辺 大畑主教も霊性ということをよく言いますが、主教にとつて霊性とはなんでしょうか。

竹田 あれは元気でやれという促しだよ。礼拝というものはみんなやる騒ぎだからね。あとユーモアも必要だよ。

渡辺 なるほど、元気でというのは「心を楽しく輝かせる」ことで、そのためにする「騒ぎ」というのは「祭り」のことですよね。

竹田 そう、僕は「祭り」という要素を大切にしたいと、ずっと言ってきた。

神崎 そこから力をいただいて、教会でも新しいことをするのは老人が多いです。

竹田 確かに、模範的な信徒が老人の中にはいるよ。

神崎 真面目ではない模範的な信徒ですね。

竹田 そう、特に榛名では僕のことを主教なんて呼ぶ人はいないよ。みんなマコちゃんと呼んでくれる。ある修女さんはもう百才を過ぎていて身動き



気がいい。しかも霊性があって、あの人と話すのは楽しみだよ。また元は看護婦で認知症の方もいるけど、普段の行動の中に看護の精神を持っていて、とても霊性を感じる。

神崎 認知症であっても霊性があるというのは素晴らしいですね。

竹田 信仰に生きた人は認知症になっても、霊性だけは残るんだな。

神崎 そういう流れの中で、復活というのは、どう繋がってきますか。僕は、死んでからではなく、生きた流れの中で捉えたいと思ってるんですが。

竹田 難しいことを聞くね。(笑) まあ復活は、人がキリストによって新しく生かされたということだからね。

渡辺 ある意味、老人の方は第二というか、新しい人生を生きているし、純粹に信仰と向き合う時が与えられている気がします。

いるような人もいますね。
渡辺 教会が、そういう人たちに出るでしょうね。
竹田 やはり、死んでも生きていてという人を教会の中心に置くことだな。みんなケアの対象にしてしまっている。
渡辺 その人の姿を見て生かされるということですか。
神崎 だから主教さんの言う「いと小さき者」というのは、遠くにいて助ける存在ではなく、私たちに命を与えてくれる存在なんだよ。
あと、僕は国際的な関わりが大切だと思いますが。
竹田 やはり内向きになっているのかな。信仰も内向きになっている気がする。
神崎 校長の時、フィリピンかどこかに行かれて、帰ってきたら僕たちに「俺の神学教育にはアジアという視点が抜けていた」と言い放って、学生全員をフィリピンに連れて行った。
竹田 あの時はお金が無くて大変だったけど。でもアジアとの交流は必要だと思った。



神崎 日本のキリスト教にとって命綱のようなところがありますよ。

渡辺 神崎先生はそこで何を一番学ばれましたか。
神崎 やはり霊性ということですよ。生活は貧しいけれど、その中にキラッと光る霊性がある。

竹田 子どもの遊びでも、障害のある子が隔てなく一緒に

遊んでるんだよ。
神崎 言葉が通じなくて、なかなか親しくなれず一人でいた時、子どもたちがビールの王冠を潰して遊んでいて、それを淋しそうにしている僕にくれるんだよ。救われた気持ちになった。

竹田 そういう学びがあったね。内向きになるとそういう気付きも無くなってしまう。

あと韓国もよかったね。今は発展したけど、元気がある。
神崎 今、韓国のGFSが一生懸命しているのは、脱北した人たち、多くは女性ですが、その自立のために喫茶店を開いている。今度、2号店もできたんですよ。

渡辺 今の神学生に望むこととかはありますか。
竹田 昔から言っているんだけど、神学校が防衛神学校になつてしまう危険がある。自分の立場を守る神学、ドグマを構築する場所になつてしま

うんだな。すると答えも同じになる。人間の問題は複雑で色んな答えがあるのに。弁解をする学問、ディフェンシブなものになつてしまう。
神崎 僕はそんなドグマを構築するなんていうレベルじゃなかった。神学院の3年間は自分の中に言いようもない闘いと混乱があって、校長はそれをじっと見て見ぬふりをしながら見守ってくれた。それ

が校長の愛情だった。

塚田先生には、はっきりと言われましたよ「君は勉強する気がないのなら、もう郷里に帰りたいまえ。君の年頃の青年はみんな働いているんだから」と。でも後に、その彼から立教に来ないかと言われた。
渡辺 もう一つぜひお聞きしたいのは、主教さんの思う牧師にとって大切なことは何でしょうか。
竹田 そうだねえ、基本的には人間を愛する気持ち。そして神さまの子どもであるということをもつて生活することかな。ただ、それは牧師だけでなく信徒にも必要なことだけだね。

渡辺 そろそろお時間ですが、最後に大畑主教にメッセージをお願いします。
竹田 それは困ったな。まあ体に気をつけて元気でやってくださいということかな。あと、あまり苦しまず、気楽にやってください(笑)、と。
渡辺 わかりました。主教様、神崎先生、今日はどうも有り難うございました。

「新祭の1冊」

『小さくされた人々のための福音』

ための福音

本田哲郎訳、新世社2001年刊

司祭 前田良彦

本田哲郎神父の訳されたこの「小さくされた人々のための福音」を改めて紹介するまではないのでは？と思いつつまだ触れたことのない方々にご紹介したいと思います。フランススコ会の管区長であった本田神父が全国に散らばっているブラザーを訪問するということ、山谷



や釜ヶ崎の人々と出会うなかで「通じない聖書」の言葉にシヨックを受

けたのです。何とかこの人々に聖書の思いを届けたいと思い翻訳をされたのが、この書です。「この苦勞をなめつくしてきたせんばい、仲間の労働者に『福音』のすごさがピンとくる聖書があれば…」（5頁）という思いがこの聖書の出発点です。もし購入して読んでみたいと思われたら、聖書本文からではなく、はしがき、新しい訳語、言い回しの

試みと、付録そしてあとがきからお読みになるといいでしょう。

聖書の中でキーワードとなる言葉を新しい訳語で用いています。洗礼、悔い改める、罪、愛、という大事な言葉が本来の意味と日本語に翻訳したらの言葉が良いのが記されています。全部をこのスペースではお伝えすることは出来ませんが、一つだけご紹介したいと思います。

コリントの第1の手紙の13章の愛の賛歌と呼ばれる一部分をお読みください。

「人を大切にすることは、忍耐よく相手をする。人を大切にすることは、思いやりをもって接すること。人を大切にすることは、ねたまず、うぬぼれず、思い上がらず、めざわりなことをせず、自分の利を求めず、いらだたず、人の意地悪を根に持たず、人を不正に抑圧して喜ばず、ともに真実を喜ぶこと。」（4～5節）
目からウロコです。どうぞ手にして見てください。

「わたしもあなたを罪に定めない」
（ヨハネ8：1～11）

神殿の境内で人々を教えるイエスのもとに律法学者やファサイ派の人々が律法違反（姦淫）の現場で捕らえた女性を連れて来ます。石打の刑を行うためイエスを試そうとしてでした。

イエスはかがみ込み、指で地面に何かを書き始められました。彼らがしつこく問い続けるのでイエスは身を起こして「あなたたちの中で罪を犯したことの無い者が、まず、この女に石を投げなさい」と言われた。ある説では彼らがイエスが何を書いておられるかを覗き込むと何と、彼らの不倫相手の名前であったので驚いて一人一人立ち去ったと言われている。

〈聖書を開いて〉⑤

「赦し」こそ神の本質

司祭 佐々木 庸

わかった罪は、はつきり神さまに申し上げて、ゆるしを受けましょう。私達は通常、朝夕の礼拝、聖餐式の中で「一般懺悔」を行います。日本聖公会の祈祷書は298～299頁に「個人懺悔」を載せて、前述の方法では心穏やかでない人々に道を開いてお

ります。これは、教会における司祭の奉仕の務めです。希望される方はご自分の「牧師またはほかの司祭のもとに行き」行うことが出来ます。

十字架に付けられようとす時イエスは「父よ、彼らをお赦しください。自分が何をしているのかわらないのです。」（ルカ23：34）と兵士だけでなく現代に生きる私達のために祈られました。十字架の死を通して御父のみ心（愛）を示してくださいました。このことよって、際限のない赦し＝真の愛の世界への道が開かれたので

す。私達は人間としての弱さのゆえに限度を設けたがりません。「仏の顔も二度三度」と。イエスは弟子達に「兄弟が罪を犯したら戒めなさい。そして、悔めば赦してやりなさい」と教えられました。当時のユダヤ教のラビたちが「3回赦せ」と言っている中で、さらに「一日に7回あなたに對して罪を犯しても、7回、「悔い改めます」と言つてあなたのところに来るなら、赦してやりなさい」と教えられました。（7は完全数ですから、際限なくという意味）イエスは口先で教えられたのではなくご自身の十字架の死と復活を通して、これ程までに私達を大切にして下さる神の本質（愛）を示されました。このイエスを信頼してゆるしを受け、心の目を開いて頂きましょう。そうすれば、誰に對して損害を与えているかを悟らせていただけます。

私達のために来てくださった主イエス＝キリストの誕生をお迎えする備えを致しましょう。

ようこそ八王子復活教会へ

1908年、元立教
小学校校長・伊藤高
清氏の嫡父伊藤堅逸
司祭の司牧(1921
(67年)を経て
2008年に創立

八王子復活教会は、
多摩グループ5教会
の一つで、本年4月
に学校法人化され、
11月10日に100周
年を迎えた幼稚園と
今井蒸治司祭が八王
子ミッシヨナーをさ
れている鑑水集会所
がある、教区事務所
から一番遠くに位置
する教会です。



100周年を迎えました。
その間、教会は竹田真師
父、五十嵐正司神父など
主教になられたお二方を
はじめ多くの司祭様に司
牧して頂きました。

2004年に新築した
聖堂は、天井が高く音の響
きも良いので、コンサート
会場としても利用していま
す。コンサートに足を運ん
で頂いて、いつの日か教会
に連なつてくださる方が一
人でもいらつしやるといひ
なあと願っています。
幼稚園のご父母とは、今
年は「ふれあいバザー」と
称し共に働きました。11月

18日の主日は幼児祝福式と
収穫感謝祭礼拝に親子を招
き、礼拝と愛餐会をもちま
した。幼稚園から教会の方
に足を向けてくださること
も願っています。

また、鑑水集会所では礼
拝と聖書研究会が行われて
います。まわりの土地の一
部が畑なので、お野菜を作
るのが上手な信徒が四季の
野菜を作ってくださいとい
ます。その野菜
は、まさに収穫
感謝祭の捧げ
物になり、昼
食の材料にな
り、私たちが買
わせていただ
いた収益は、一
部、東日本大震
災の義援金に
もなっていま
す。多くの豊か
な実りをもた
らす神さまと
ファーマーに
感謝！です。
教会は、い
ろいろな人々

「芝公園の窓から」②

先日英国聖公会ダラム教区のジャスティン・ウエルビー (Justin Welby) 主教が第 105 代のカンタベリー大主教に任命された。着座式は主教トマス・克蘭マー日である来年 3 月 21 日に行われる。ウエルビー師は 1956 年生まれ。石油業界で 11 年間活躍したが、フランスで生後 7 か月の娘を交通事故で亡くした後、「召命」を受け会社を辞め聖職になった。「和解仲裁の専門家」として知られている彼は西アフリカの油田事業に関わった経験からアフリカ諸国の葛藤仲裁と和解のために努力してきたという。彼の企業運営経歴から危機管理能力と外交術に対する期待が高まっている。英国を始めとする世界聖公会コミュニティが悩んでいる分裂の問題の打開策として「管理者型」の主教が選ばれたと言ってもよいだろう。今日の世界は多様な価値観と思想、考え等によって豊かになった半面、分裂と争いが絶えない。だからこそ次世代のリーダーには和解と仲裁という役割が期待されていると言っても過言ではない。しかし「和解仲裁の専門家」と言えばやはり「イエス・キリスト」を抜きにしては話にならない。私たちの間に宿られた主イエス・キリストこそが「真なる」和解仲裁の専門家である。今年の降誕日は改めて和解仲裁について考えてみたい。

宣教主事・司祭 卓 志雄 (タク・ジウン)

の集まりで、比較的会的に安泰に運営出来さえすればというのが常です。気持ちはずっと外に向けて働きたい…というのが多くの教会がかかえる問題でしょう。わが教会では



「いっしょに歩こう！プロジェクト新地ベース支援」として同地で展開するカフェのために焼き菓子を作り、送ろうということを 9 月から月 2 回始めました。外に向けての働きの一歩だと思っています。継続できる努力を祈りをもって行っていきたいと願っています。
(ガラシャ玉子 蒲池美喜子)

主教座聖堂の働き

主教座聖堂主任司祭

笹森 田鶴



各主日)、教会暦の特別な礼拝(降臨節前や被献日前の礼拝、聖週の礼拝) 教区教役者逝去記念聖餐式、新年礼拝等関する準備や実施を通し、東京教区の働きの一環を担っています。

聖公会の特徴は、会議性を尊重しつつ主教制を保持する信仰共同体であることです。会議性の具体的な組織としてすべての教会が代表を送り、教役者も一堂に会して行われる教区会があります。一方で主教制の具体的な執行のために主教座聖堂があり、教区主教の職務を補佐します。そして会議性と主教制のこの両面をバランスよくつなぐ要が、教区主教の存在です。

聖アンデレ主教座聖堂は、「東京教区施行規則」により教区主教の諮問機関として位置づけられています。教区主教の職務遂行を補佐することが主な活動内容です。キリスト教信仰共同体である東京教区に不可欠な礼拝、とりわけ教区主教の施行する礼拝が当然ながらその活動の中心です。礼拝は、それぞれの信仰共同体の関心や宣教課題、教会形成の中心が表現され、神と人ともに奉仕する重要な場です。主教座聖堂では、聖職按手式、教区合同堅信式(復活前、昇天後、降臨節第3の

また聖公会の主教制自体も会議性を保持しています。聖公会の主教制は、教区主教という個人的な存在のみに委ねられるものではありません。信仰共同体の霊的指導者として、また教区の一致の象徴として存在する教区主教のすべ

ての職務執行は、司祭団、執事や伝道師の働きの補完が前提条件となります。教区が教会の集合体でキリストの体を示すように、教区主教の職務の一部を任せられて各教会や礼拝堂、関係学校や諸施設などに教区主教より派遣されているすべての聖職の働きによって、教区主教の職務全体が果たされていくのです。聖職たちに分かち合われた職務によって教区主教が存在することは、聖公会の基本的な神学的立場でもあります。



光の礼拝 (11月25日)

今後、聖職の減少など、教区状況が大きく変化することが予測されています。どのような状況であろうとも、礼

拝を中心とした信仰共同体として東京教区がこの機に更に成長し続け、一人ひとりが主体的な教区の宣教の担い手として生かされていくことが求められます。そのために聖職信徒の教育の充実を教区主教が重点課題として挙げていることは既知の事です。教育に関わる諸委員会との連携の中で、10年後の東京教区を見据えて主教座聖堂のなすべき務めをひとつひとつ誠実に実行していく所存です。

礼拝実施の他、連続神学

講座A(同じ課題の様々な神学的視点からの学び)、連続神学講座B(聖書、礼拝などの継続的学び)、主教座聖堂の礼拝奉仕者研修。米国聖公会の法規研究。礼拝全般の資料収集・翻訳・研究、祈祷書改正教区モニターとの連携による祈祷書の研究。その他教区主教より委託された諸活動を行います。皆様の祈りによる参加を心よりお願いいたします。

◇ ◇ ◇

※次号は2月10日発行予定

あっと驚き、ときどきユーモア(四)

1. 雨漏り

牧師「この教会も、だいぶ痛んできました、礼拝堂に雨漏りがするようになりました。つきましては信徒のみなさんにご寄付をお願いしたいのですが」

信徒「わかりました。私は傘を20本寄付いたします」

2. あだ名

信徒A「君は、みんなからイザヤと呼ばれているけど、洗礼名なのかい」

信徒B「いや、あだ名だよ」

信徒A「どうして、そんなあだ名がついたんだい」

信徒B「実は、みんなにうちの妻という普段の姿を見られちゃってね」

信徒A「それが、どうしてイザヤと関係あるんだい」

信徒B「どうも、その姿が『苦難のしもべ』に見えたらいいんだ」

3. 山上の説教?

牧師「すみません。今日の“山上の説教”についての説教は要点もまとまらず、ひどい内容でした」

信徒「これが本当の“惨状の説教”ですわね」